



## 2018年クリスマスメッセージ

— マリアニスト家族世界評議会 —

“…静寂の一時、ひと組の男女が神の計画において自分たちが占めることになる役割を受け入れた…”

神に栄光あれ、救いは近い！”

(Glad 歌「静寂の一時」より)

### 親愛なる兄弟姉妹の皆様

あらためて偉大な受肉の神秘を観想するとき、私たちは遠い昔の静寂の一時に私たちに示された計り知れない神の愛を思い起こすだけでなく、また、その一瞬一瞬が静寂とは程遠い私たちの今の時代にあって、いろんな意味で、この愛は依然として知られていないし、報われてもいないことをも心に留めずにはいられません。けれども、より深く観想するとき、イエスがお生まれになったこの世界は独自の問題を抱えていたし、その多くは今日も未だに私たちを悩ませていることが分かります。

聖家族に対してドアを閉めた人々は、実際は自分たちの神をお迎えすることを拒んでいたのだ、と想像することができたでしょうか。この聖家族は貧しい人たちでした；ただ（神の計画に）忠実でありたいと望んでいました。にもかかわらず、彼らは権力と支配を求める人々によって追跡されることになり、暴力と不寛容が彼らを取り囲みます；この幼子は拒絶され、尚且つ、後には殺されます。確かに、彼らの心は傷つきますが、その信仰は揺らぐことはありません。マリアとヨゼフは幼子を養育し、教え、天に輝く星々を創り出したその手を優しく握ることになります。彼らは家族であり、聖家族であり、聖霊の力を通して始まり、命のパンである方と共にパンを裂き、天の父なる神に栄光をもたらす最初の教会だったのです！

マリアニスト家族として、私たちはこの聖家族の中に霊示を与えてくれる多くのことを見いだします。マリアのように、私たちは自分たちの生活の中で働いておられる聖霊を受け入れる者であるように、また、福者である私たちの二人の創立者から受け継いだ私たちマリアニスト家族の独特のしるしであるカリスマを生きるよう努めます。聖ヨゼフのように、私たちは、神がマリアニスト家族を導き、守り、豊かなものとしてくださる、と確信し、この神に信頼します。マリアとヨゼフのように、神の愛の充満がイエスのうちにあり、イエスのうちに現れていることを知って、私たちは彼らの子であるイエスに驚嘆します。

日々、苦痛を伴う悲惨な現実を私たちに示している世界にあって、私たちは聖家族に目を向け、彼らの間にある相互愛、自己犠牲的な忠実さ、そして限りない信頼の模範の中に力を見いだします。この聖なるクリスマスの時期に、マリアニスト家族のメンバーである私たちは、聖家族の諸徳を模範とする“教会”となり、また、「神は私たちを決して見捨てることなく、むしろあらゆる試練を通して忠実であり続けられる」ということを証する教会となることによって、世にキリストをもたらすという私たちのカリスマ的な使命に、いま一度、専念しようではありませんか。

「神に栄光、私たちの救いは近い！」と証しすることによって、神の計画において私たちが占める役割を果たしましょう。

このクリスマスの時期と新年を通して、受肉の祝福が皆さんの上にありますように！

マリアニスト家族世界評議会